

地域医療連携室だより

～ 第 14 号 ～

大阪市立十三市民病院

地域医療連携室 室長 挨拶

はじめに、6月18日に発生しました大阪北部地震、ならびに7月6日以降の西日本豪雨災害の被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。豪雨の後にはふたつの高気圧が重なっている状態が続き、連日40℃に迫る異常な酷暑が続いております。災害の後片付けも厳しいものになっている様ですが、熱中症の1/3は住居で発生しているとの報告もあり、貴院におかれましても通常診療において、この季節は特にご苦労されているとお察し申し上げます。

さて、ここで前号に掲載いたしました今年度の取り組みの進捗状況をご報告させていただきます。

- ① 4月1日から開始した内科系2次救急の全日24時間対応にて、4～6月の救急車搬送数は269件(月平均90件)、7月は22日現在で100件以上の救急車搬送数となっています。このことは、当院の内科系2次救急対応が近隣地域に少しずつ浸透してきている所以と推察いたします。地域の先生方には今以上にご利用いただけるように院内全スタッフが一致団結、協力して励んで行きたいと考えています。
- ② 入退院支援センターでは、入院前支援(PFM: Patient Flow Management)を5月より開始していますが、実際の支援件数はまだ目標には達しておりません。しかし、明らかになった問題点をひとつずつ解決しながら、当院独自のPFMを作りあげて行こうと考えています。一方、退院支援については、退院支援担当スタッフが患者さんの入院された直後から支援介入を行っているため、支援件数が昨年度と比較して3倍以上に著増しています。
- ③ がん相談支援センターは2階外来ブースに設置され、毎日のように訪れるがん患者さんおよびその家族に真摯に対応しています。また、院外の方々にも利用可能ながん患者サロンも近々作られる予定です。
- ④ 地域医療連携室を介した造影画像予約は、当院の医師および医療連携室スタッフによる医療機関訪問時のご案内にて、少しずつ利用数が増加しています。

以上の取り組みを、8月以降も進めて行きたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

続いて、今回の「地域医療連携だより」では、8月から始まったストーマ外来の紹介、褥瘡対策チームと糖尿病ケアチームの活動状況、およびがん化学療法看護認定看護師の紹介を掲載させていただいています。当院の院内での取り組みについて更にご理解いただけるものと存じます。

地域医療連携室スタッフ一同、益々努力していく所存でございますので、ご要望やご質問をお寄せ頂ければ幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。



地域医療連携室長 倉井 修 副院長



ストーマ外来の紹介

皮膚・排泄ケア認定看護師 奥田典代

ストーマは、ギリシャ語で「口」を意味し、転じて、大腸癌、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）、膀胱癌などで、「手術によって腹部に造られた排泄口」を指します。ストーマには、消化管ストーマと尿路ストーマがあり、わが国の永久ストーマ保有者は推定 20 万人とされています。

手術前に病気の告知や手術への不安に加え、ストーマをつくることで、生活にどのような変化があるのか分からず戸惑うことが多いと思います。さらに、ストーマ用品を使用し、新しい排泄管理方法を習得しなければなりません。ストーマ保有者は身体的な変化、生活の変化を経験しながらストーマとともに日常生活を送ります。



ストーマ外来は、このようなストーマ保有者の生涯にわたり生活の質を支えることを目指した専門的ケアを提供する外来です。具体的な内容としては、ストーマ造設手術を予定されている方やご家族の相談、日常生活で困っていることの相談、便・尿漏れやストーマ周囲の皮膚障害の対応、ストーマ用品の情報提供などがあります。

当院では、8 月より毎週月曜日ストーマ外来を開設いたしました。外科の医師とともに、問題点やニーズに対応し、ストーマ保有者が快適な日常生活が送れるよう努めてまいります。

また、入院中も、主治医、病棟看護師と協力しながら社会復帰に向けてストーマリハビリテーションを行っていきます。地域での生活を見据えた退院支援も重要な役割と考えております。地域の皆様のお力をお借りしながら、より良いケアが提供できるよう頑張っていきたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

褥瘡対策チームの紹介

7階病棟 副看護師長 井村享子

近年の急激な高齢化に伴い、寝たきりの患者様が増加しており、褥瘡発生のリスクは高まっています。

当院では、院内発症褥瘡患者の減少、褥瘡発症患者の治療期間短縮を目標とし、質の高い褥瘡ケアの提供を目指して、平成 14 年に「褥瘡対策チーム」を発足し活動を始めました。

チームは、医師、皮膚・排泄ケア認定看護師(WOC)、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士などの職種が協力しています。活動は毎週水曜日に褥瘡回診を行っています。褥瘡回診では褥瘡対策チームメンバーと各病棟看護師が患者さまのベッドサイドでケアを行い、褥瘡の評価や処置方法、体圧分散マットレスの見直し、ポジショニングなど患者さまの状況に応じたケアを検討しています。

毎月 1 回会議を行い、褥瘡発生リスク者数、発生状況、転帰等の状況把握とデータ管理、院内で起きている問題などを話し合い、褥瘡発生ゼロを目指しています。

また、全職員を対象に知識、理解向上のための勉強会を行っています。

褥瘡の治癒のためには栄養状態も大きく影響するため、患者さんの栄養状態を確認しNST(栄養サポートチーム)も介入し、栄養面からもサポートしています。

今後、地域の皆様のお力をお借りしまして、連携を強化し褥瘡を持って入院される患者さまや、褥瘡が完治しないまま退院される患者さまが、少しでも安心して治療を受けていただけるように取り組んでいきたいと考えていますので何卒よろしくお願い申し上げます。

認定看護師の活動紹介

がん化学療法看護認定看護師 坂本陽子

はじめまして、がん化学療法看護認定看護師の「坂本陽子」と申します。私の役割は、がん化学療法を受ける患者様が、治療を安全に受けることができるように、副作用症状のマネジメントを行い、患者様がセルフケアを実践できるよう支援することです。そしてがん看護相談外来では患者様とご家族様を含めた療養上の支援や、医療スタッフに対し、がん化学療法に関する指導やコンサルテーションなども行っています。

また、緩和ケアチームに所属し、療養中の患者様のつらい症状を少しでも和らげることが出来るように、チームメンバーとともにサポートしています。その中でチームの取り組みとして、がん患者サロン「サロン・ド・JUSO」を月1回開催しています。

<がん看護相談外来のご案内>

がんと診断され受診をされている患者様とご家族様を対象に、病気や治療、療養上の疑問について一緒に考え支援しています。

- たとえばこのようなときにご相談下さい
 - ・医師から病気のことを説明されたが、よく分からない
 - ・抗がん剤の治療方法や副作用について知りたい
 - ・身体症状の悩み:痛み・しびれ・息苦しさ・吐き気・だるさなど
 - ・不眠・不安・気分の落ち込み
 - ・今後の事が心配
 - ・話を聞いてほしい
 - ・誰にも相談出来なくて困っている など
- 時間月～金曜日の 14:00～16:00 1人 30分程度 予約制です。

<がん患者サロン「サロン・ド・JUSO」開催のご案内>

「サロン・ド・JUSO」は、がん患者様やご家族様が同じ病気を持つ人との交流や情報交換を通じて、がんとうまく付き合い、自分らしい生活を過ごせるよう支援することを目的としています。医師や看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、医療ソーシャルワーカーなど各職種が交代でミニレクチャーを行っておりますので、病気に関するご理解を深めていただくとともに、ご心配なことなどを自由に語っていただければと思います。

- 開催日:毎月第4水曜日 午後2時から4時頃まで
- 場所:9階 すかいルーム
- 参加費は無料です。
- 対象はがんの患者様と、そのご家族様
- 事前申し込みは不要です。



糖尿病ケアチームの紹介

糖尿病看護認定看護師 森脇恵美子

糖尿病ケアチームでは、患者様や患者家族を含めたチーム医療を実践し、健康な人と変わらない日常生活の質を維持し、健康な人と変わらない寿命の確保を目指し、個々のライフスタイルに合わせた最善の治療、療養指導を提供するため活動しております。

【主な活動内容】

- 入院治療(糖尿病教育・血糖コントロール)
- フットケア外来(毎週月・火・水曜日)
- 外来糖尿病教室(第4・2水曜日:2回1クール)
- 糖尿病一次予防活動「糖尿病フェスタ」
- FreeStyle リブレ Pro を使用した血糖管理

外来糖尿病教室、フットケア外来は
直接ご予約いただけます。

詳細な血糖状況を知る上で必要とされるグルコースデーター2週間分を得ることができます。
糖尿病治療中に患者様でご希望の場合はご紹介ください。結果レポートを作成しお送りさせていただきます。

糖尿病フェスタ開催のご案内

日時: 2018年11月9日(金)14~16時
場所: 十三市民病院内
テーマ: 健康管理の新時代~人生100年時代~
内容: 講演・血糖測定・食事や運動療法など
参加費: 無料

地域医療機関の先生方の要望にも対応させていただけるよう活動していきたいと考えております。何卒よろしくお願い申し上げます。

~十三臨床談話会のご案内~

8月9日(木)18:15~20:15 9階すかいルーム

教育講演 (18:30~)

「抗血栓薬服用者に対する内視鏡検査・治療」

演者: 大阪市立十三市民病院

消化器内科 小野 洋嗣先生

特別講演 (19:00~)

「急性腹症の超音波診断」

演者: 川崎医科大学

検査診断学(内視鏡・超音波)

教授 嶋 二郎先生

※ 大阪府医師会生涯教育講座を単位申請しております

~トピックセミナーのご案内~

○ 9月6日(木)18時30分~19時40分 9階すかいルーム

~ウイルス性肝炎の最前線~

「C型肝炎治療とSVR後に残された問題」

特別講演演者: 兵庫医科大学

内科学 肝・胆・膵科

主任教授 西口 修平 先生

※ 大阪府医師会生涯教育講座を単位申請しております

編集

大阪市立十三市民病院 〒532-0034

地域医療連携室

大阪市淀川区野中北 2-12-27

代表電話: 06-6150-8000

直通電話: 06-6150-8067